

一般社団法人 日本原子力学会
第 101 回 標準委員会 議事録

I-1 日 時：2025 年 9 月 3 日（水）13：30 ～ 16：20

I-2 会議方式：Web 会議

I-3 出席者（敬称略）

（出席委員）山本委員長，西山副委員長，毎熊幹事，青野，阿部，井口，石川，糸井，乾，今井，井村，牛尾，小澤，木倉，黒田，佐々木，曾根田，高田，竹山，田中，戸澤，中島，成宮，西田，古川，椋木（26 名）

（フェロー委員）宮野（1 名）

（委員候補者）河津賢太郎（九州電力），定廣大輔（富士電機）（2 名）

（常時参加者）内山，岡田，折田，鈴木，塚部（5 名）

（欠席常時参加者）佐々木，田中，藤澤（3 名）

（説明者）【リスク専門部会 レベル 1PRA 分科会】橋本幹事

【リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会】平塚幹事，渡邊委員

【システム安全専門部会 水化学管理分科会】河村主査，宮重常時参加者

【システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会】

西村主査，木村幹事，及川委員

【システム安全専門部会 炉心燃料分科会】天谷主査，北島委員

【基盤応用・廃炉技術専門部会 放射線遮蔽分科会】奥野幹事

【基盤応用・廃炉技術専門部会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会】

中田主査，平尾副主査

【原子燃料サイクル専門部会 LLW 処分安全評価分科会】

杉山主査，竹内幹事，中居委員，北原常時参加者，黒田常時参加者

【原子力安全検討会】安井幹事

【標準活動基本戦略タスク】毎熊主査，黒田幹事，井村委員，鬼沢委員（延べ 23 名）

（事務局）大沼，平野（2 名）

I-4 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

II 議事内容

事務局から，委員（フェロー委員含め）27 名中，開始時点で 24 名の出席があり，委員会成立に必要な定足数（18 名以上）を満足している旨の報告があった。その後，会議中に出席の委員があり，最終的に 27 名の出席となった。

1. 前回議事録の確認（SC101-1）

前回議事録（案）については既に配付・修正されているものであり，特にコメント無く，承認された。

2. 人事について

(1) 標準委員会

資料 SC101-2-1 に基づき、標準委員会の人事について以下の提案及び報告があった。

- ① 理事会による委員選任承認の確認
 - 井村 諭 三菱重工業 2025.06.20 理事会承認
 - 古川 智弘 日本原子力研究開発機構 2025.06.20 理事会承認
- ② 理事会による委員再任承認の確認
 - 黒田 理知 東芝エネルギーシステムズ 2025.06.20 理事会承認
 - 青野 竜士 日本原子力研究開発機構 2025.06.20 理事会承認
 - 今井 俊一 東京電力ホールディングス 2025.06.20 理事会承認
- ③ 理事会による委員長選任承認の確認
 - 山本 章夫 名古屋大学 2025.06.20 理事会承認
- ④ 委員選任の決議
 - 河津 賢太郎 九州電力 2025.09～2027.08
 - 定廣 大輔 富士電機 2025.12～2027.11
- ⑤ 委員再任の決議
 - 曾根田 秀夫 日立 GE バルノバニュークリアエナジー 2025.12～2027.11
- ⑥ 常時参加者登録解除の確認
 - 富田 邦裕 電気事業連合会 2025.07.01
- ⑦ 常時参加者登録承認の決議
 - 折田 修一 電気事業連合会
 - 塚部 暢之 原子力規制庁

委員退任、理事会による委員選任承認等が確認され、また、審議の結果、委員の選任等が決議された。

委員選任された河津様、定廣様からご挨拶をいただいた。

(2) 専門部会

資料 SC101-2-2 に基づき、専門部会の人事について以下の提案及び報告があった。

(2)-1. リスク専門部会

- ① 委員退任の確認
 - 沼田 健 関西電力 2025.07.03
 - 田中 太 三菱重工業 2025.07.31
- ② 委員選任の承認（決議）
 - 竹次 秀一 関西電力 2025.09～2027.08
 - 菰澤 貴之 三菱重工業 2025.09～2027.08
- ③ 委員再任の承認（決議）
 - 佐藤 親宏 テプコシステムズ 2025.11～2027.10

(2)-2. システム安全専門部会

- ① 委員再任の承認（決議）
 - 大谷 司 電源開発 2025.12～2027.11

(2)-3. 基盤応用・廃炉技術専門部会

① 委員退任の確認

米山 健司	日本原子力発電	2025.06.30
小形 好弘	日本原子力発電	2025.07.18

② 委員選任の承認（決議）

神野 職	日本原子力発電	2025.09～2027.08
竹野 美奈子	日本原子力発電	2025.09～2027.08

(2)-4. 原子燃料サイクル専門部会

① 委員再任の承認（決議）

藤原 啓司	原子力環境整備促進・資金管理センター	2025.12～2027.11
白井 茂明	リサイクル燃料貯蔵	2025.12～2027.11

② 常時参加者登録解除の確認

大塚 楓	原子力規制庁	2025.06.05
------	--------	------------

③ 常時参加者登録承認の確認

澁谷 憲悟	原子力規制庁
-------	--------

(2)-1～4 の各専門部会について、委員の退任等が確認され、委員の選任・再任が承認された。

(3) 標準活動基本戦略タスク

資料 SC101-2-3 に基づき、標準活動基本戦略タスクの人事に関し、清水委員が退任され、新たに井村委員がタスク委員となった旨の報告があった。

3. 審議事項

(1) 【報告・審議】（公衆審査の結果）

“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X” 及び “沸騰水型原子炉の水化学分析方法”（全4件）の改定原案に関する公衆審査の結果について

（担当：事務局，システム安全専門部会 水化学管理分科会 河村主査，宮重常時参加者）

事務局から SC101-3-1-1 に基づき、題記に関する公衆審査の結果，ご意見が無かったことが報告された。引き続き，説明者から SC101-3-1-2～6 に基づき，公衆審査後の軽微な修正，及び4標準の最終案について説明があり，審議の結果，この内容で制定・発行することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(2) 【報告・審議】（書面投票の結果）

“原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：20XX” 改定原案に関する書面投票の結果，及びその対応について

（担当：事務局，システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会 西村主査，木村幹事，及川委員）

事務局から SC101-3-2-1 に基づき，題記に関する書面投票の結果，可決となり，2名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，説明者から SC101-3-2-2 に基づき，意見への対応について説明があった。審議の結果，この内容で1か月間の公衆審査に移行することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(3)【報告・審議】（書面投票の結果）

“原子力発電所における燃料の先行照射に係る実施基準:202X”標準原案に関する書面投票の結果、及びその対応について

（担当：事務局，システム安全専門部会 炉心燃料分科会 天谷主査，北島委員）

事務局から SC101-3-3-1 に基づき，題記に関する書面投票の結果，可決となり，3名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，説明者から SC101-3-3-2～4 に基づき，意見への対応について説明があった。審議の結果，この内容で2か月間の公衆審査に移行することが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：附属書Aのタイトルが目次と異なっている。

A：目次が間違っているのを，整合するように修正する。

(4)【報告・審議】（書面投票の結果）

“放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編）：202X”標準原案に関する書面投票の結果，及びその対応について

（担当：事務局，基盤応用・廃炉技術専門部会 放射線遮蔽分科会 奥野幹事，

遮蔽材料標準作業会 中田主査，平尾副主査，前中委員）

事務局から SC101-3-4-0 に基づき，題記に関する書面投票の結果，可決となり，2名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，説明者から SC101-3-4-1～4 に基づき，意見への対応について説明があった。審議の結果，この内容で2か月間の公衆審査に移行することが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：解説に記載の用語を本文「用語の定義」に残すと言う判断だが，「解説」は標準の本体では無いので，用語の定義に記載する対象ではないのではないかと。

C：解説の用語の扱いについて，今回はこのままで良いが，今後に向けて事務局にて決まりの有無を確認すること。

A：拝承。

C：附属書は標準本文の規定を理解するためのものと考えているが，留意事項を附属書Aに記載すると本文に記載されている。今回の公衆審査ではこのままでよいが，本文の箇条と対の形で説明を記載するほうが良い。

A：附属書Aには，「本文箇条に規定した」という表現で記載している。今後の改定時には，本文との対応をより明確にするようにもう少し見直しを行いたい。

Q：コンクリート厚の1500mmはもともと決まっている値か。

A：原子炉施設，加速器施設の中性子遮蔽の厚さのうち薄めの値を採用している。壁厚が厚くなるほど水分が多くなり中性子遮へい能力が大きくなるので，保守的に薄目に標準値を設定した。

C：本文(2)式で，Tを(T/T0)に置き換えたことで，傾きに1500を掛けたため，傾きの有効数字が変わるところが気になる。標準値を1000mmにすると，傾きの有効桁数が変わらない。

A：1000mm厚は，中性子遮へいの標準厚としては保守的すぎるので，現状の表記のままとさせて頂きたい。

(5)【報告・審議】（本報告）

“原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル1PRA編)：2013”及び“原子力発電所の停止状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル1PRA編)：2019”の廃止について

(担当：リスク専門部会 レベル 1PRA 分科会 橋本幹事)

説明者から SC101-3-5 に基づき、題記の標準の廃止に関する本報告があり、審議の結果、15 日間の書面投票に移行することが決議された。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

Q：標準を廃止した場合の位置付けは、メンテナンスしない、という位置づけか。

A：過去に正式に廃止した標準としては 1 件（定期安全レビュー標準）あり、当時メンテナンス不要と判断して廃止した。今回も同様に廃止したら手を掛けないと考えている。

C：対応案①を実施するとしたら、他の標準をすべて確認する必要があるが、あまり有効な作業ではないと思われる。

C：先ず、廃止したら HP に廃止したことを掲載すると思うが、どうか。

A：多分、先例でも廃止した際には HP に掲載していたと思う。

C：HP に廃止の事実を掲載したうえで、問い合わせがあった場合に個別対応とするのが現実的ではないか。

A：問い合わせは最初に事務局へ来るので、そこで新しい標準を紹介し、更に問い合わせがあれば専門部会・分科会に相談する。

C：対応案②はそれに近い考え方である。旧標準は廃止しても在庫があれば販売継続とし、問い合わせに対しては、販売するとか、その代替方法を提供する等で対応する。

(6)【報告・審議】（中間報告）

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”標準改定案の中間報告について

(担当：原子燃料サイクル専門部会 LLW 処分安全評価分科会 杉山主査、竹内幹事、中居委員、北原常時参加者、黒田常時参加者)

説明者から SC101-3-6-1～4 に基づき、題記の標準改定案に関する中間報告があり、審議の結果、30 日間の意見募集を実施することが決議された。

特に質疑、コメント等は無かった。

(7)【報告】（趣意説明）

“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の利活用事例集：202X”の作成について

(担当：リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 地震 PRA 作業会 平塚幹事、渡邊委員)

説明者から SC101-3-7 に基づき、題記の技術レポートの策定の趣意について説明があり、この内容で検討を進めることを確認した。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

Q：マニュアル的な見方や性能規定的な見方等、ユーザから見ると多面的な標準であり、技術レポートができたなら、ワークショップ、講習会等を実施して、更にユーザからの意見を取り入れるとよいと思う。

A：技術レポートの取りまとめ後には、ワークショップや講習会の開催を予定してる。ご助言を踏まえ、ユーザの皆様からのご意見を取り入れながら、より良い活動につなげていきたい。

C：不確かさについて、この技術レポートの中で不確かさへの対応事例を含めるとよいと思

う。

A：不確かさの扱いについては、作業会メンバーの間でも課題として挙がっており、対応事例について、メンバー間で検討を進め、技術レポートに盛り込んでいきたい。

C：難しい課題かもしれないが、ぜひ前向きに検討してほしい。

(8)【報告】

水化学管理指針へのリスクインフォームドアプローチの反映に関する水化学国際会議での発表について

(担当：システム安全専門部会 水化学管理分科会 河村主査)

説明者から SC101-3-8-1～2 に基づき、今月下旬に開催される NPC25 における発表について紹介があった。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：会議での発表のリアクションについてフィードバックして情報共有してほしい。

A：拝承。

4. 標準活動基本戦略タスク・原子力安全検討会の活動

(4-1)【報告】

標準活動基本戦略タスクの報告と論点

(担当：標準活動基本戦略タスク 毎熊主査，事務局)

説明者から SC101-4-1-1～2 に基づき、標準活動基本戦略タスクの議事録，標準委員会の全体工程及び若手委員の追加について紹介があった。

特に質疑，コメント等は無かった。

(4-2)【報告】

倫理教育について

(担当：標準活動基本戦略タスク 井村委員)

説明者から SC101-4-2 に基づき、本年度の倫理教育の実施状況について報告があった。

特に質疑，コメント等は無かった。

(4-3)【報告・審議】

技術評価の振り返りについて

(担当：山本委員長，事務局)

委員長から SC101-4-3-1 に基づき、技術評価の振り返りを踏まえた今後の標準委員会における技術評価への対応について説明があり、この内容で今後の技術評価について対応することとした。

また、事務局から SC101-4-3-2～4 に基づき、上記の対応方針を反映した細則の改定案を準備した旨の説明があり、SC101-4-3-1（技術評価への対応案）及び SC101-4-3-2～4（細則改定案）について 15 日間の意見募集を実施することが決議された。

主な質疑，コメント等は次のとおり。

C：今回の事例について体系的にまとめられた。指摘のとおり、学会としての位置付け，考え方を明示し，学会，規制当局，事業者の共通理解を深めることが必要。L1 放射能評価標準については分科会傘下に作業会を発足させ，ここで NRA の常時参加者からも活発な意見があり，同標準の改定では三者の認識を共有しながら進める体制を整えつつある。

(4-4)【報告】

原子力安全検討会の議論状況について

(担当：原子力安全検討会 安井幹事)

説明者から SC101-4-4 に基づき、原子力安全検討会の議論状況について報告があった。
特に質疑、コメント等は無かった。

(4-5)【報告】

2026年春の年会向け企画セッションテーマについて

(担当：標準活動基本戦略タスク 鬼沢委員)

説明者から SC101-4-5 に基づき、2026 年の春の年会における標準委員会の企画セッションのテーマについて 9 月末までに提案の依頼があった。

主な質疑、コメント等は次のとおり。

C：具体的に企画立案して提案しないとなかなか意見が出ないと思われるので、関係者で相談したい。

C：標準委員会主催だけでなく、学会の技術部会と共催の企画セッションもある。標準委員会主催に限定すると対象が限られるので、間口を広げるとよい。

A：ご意見拝承。共催の企画セッションの実績も踏まえ、間口を広げて対応したい。

5. その他

(1) 今回が最後の出席となる戸澤委員からご挨拶をいただいた。

(2) 事務局から、来年度（2026 年度）の 5 か年計画策定について、近日中に検討依頼する予告があった。

(3) 次回は 2025 年 12 月 3 日（水）10 時から開催予定とした。

【配付資料】

SC101-0	第 101 回標準委員会議事次第
SC101-1	第 100 回標準委員会議事録（案）
SC101-2-1	人事について（案）（標準委員会）
SC101-2-2	人事について（専門部会人事案件一覧）
SC101-2-3	標準活動基本戦略タスク委員名簿
SC101-3-1-1	沸騰水型原子炉の水化学管理指針及び水化学分析方法の標準案（4 件）に関する公衆審査の結果について
SC101-3-1-2	公衆審査実施以降の修正箇所一覧表、沸騰水型原子炉の水化学管理指針 新旧比較表
SC101-3-1-3	“沸騰水型原子炉の水化学管理指針：202X”（改定案完本）
SC101-3-1-4	“沸騰水型原子炉の水化学分析方法－コバルト 60 イオン：202X”（改定案完本）
SC101-3-1-5	“沸騰水型原子炉の水化学分析方法－ヨウ素 131：202X”（改定案完本）
SC101-3-1-6	“沸騰水型原子炉の水化学分析方法－金属不純物：202X”（改定案完本）
SC101-3-2-1	“原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：20XX” 改定原案に関する書面投票【SC25-01】の結果について
SC101-3-2-2	“原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：20XX”（書面投票の結果対応）
SC101-3-2-2 別紙 1	“原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：20●●”（新旧比較表）

SC101-3-2-2	別紙 2 “原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持向上に関する実施基準：20●●”（改定案 完本）
SC101-3-3-1	“原子力発電所における燃料の先行照射に係る実施基準：20XX” 標準原案に関する書面投票【SC25-02】の結果について
SC101-3-3-2	「原子力発電所における燃料の先行照射に係る実施基準」【本報告】に関するコメント対応表
SC101-3-3-3	「原子力発電所における燃料の先行照射に係る実施基準」【本報告】に関するコメントに基づく新旧対応表
SC101-3-3-4	“原子力発電所における燃料の先行照射に係る実施基準：20XX” 標準原案
SC101-3-4-0	“放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編）：202X” 標準原案に関する書面投票【SC25-03】の結果について
SC101-3-4-1	「放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編）」本報告（案） 標準原案に関する第 100 回標準委員会書面投票【SC25-03】の対応について
SC101-3-4-2	“放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編）：202X” 標準原案（完本）
SC101-3-4-3	「放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編）」本報告（案） 標準原案に関する第 100 回標準委員会書面投票【SC25-03】のコメント対応について
SC101-3-4-4	放射線遮蔽計算に用いる遮蔽材料組成（コンクリート編） 新旧比較表
SC101-3-5	レベル 1PRA 旧標準の廃止について
SC101-3-6-1	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX” 標準改定案に関する中間報告について
SC101-3-6-2	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX” 標準改定案の主な改定内容
SC101-3-6-3	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX” 標準改定原案
SC101-3-6-4	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX” 新旧対照表
SC101-3-7	“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の利活用事例集：202X” 作成について
SC101-3-8-1	水化学管理指針へのリスクインフォームドアプローチの反映に関する水化学国際会議での発表について
SC101-3-8-2	Application of Risk-Informed Approach to Water Chemistry Guidelines in Japan
SC101-4-1-1	標準活動基本戦略タスク 2025 年度第 2 回議事録（案）
SC101-4-1-2	標準委員会活動全体計画（案）（年間工程表）
SC101-4-2	2025 年度 倫理教育の実施状況について
SC101-4-3-1	原子力規制委員会による技術評価への対応（案）
SC101-4-3-2	1101-01-04 標準委員会 技術評価への対応細則（改定案）
SC101-4-3-3	1101-01-04 標準委員会 技術評価への対応細則 新旧比較表（案）
SC101-4-3-4	標準委員会規程類の合理化検討（気付き事項）（技術評価関係の抜粋）
SC101-4-4	第 49 回 原子力安全検討会 議事録（案）
SC101-4-5	原子力学会での標準委員会主催企画セッション 2026 年春の年会向けテーマ及び今後の開催形式について（ご意見伺い）
SC101 参考 1	標準委員会委員名簿
SC101 参考 2	標準委員会出席状況

SC101 参考 3 標準委員会の活動状況
SC101 参考 4 専門部会の活動状況
SC101 参考 5 2025 年度の標準委員会開催日について

以 上